

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年4月10日(2014.4.10)

【公表番号】特表2013-521242(P2013-521242A)

【公表日】平成25年6月10日(2013.6.10)

【年通号数】公開・登録公報2013-029

【出願番号】特願2012-555371(P2012-555371)

【国際特許分類】

C 07 D 493/04	(2006.01)
C 07 D 519/00	(2006.01)
A 61 K 47/22	(2006.01)
A 61 K 47/34	(2006.01)
A 61 K 8/49	(2006.01)
A 61 K 8/58	(2006.01)
A 61 K 8/891	(2006.01)
A 61 Q 1/04	(2006.01)
A 61 Q 1/10	(2006.01)
A 61 Q 3/00	(2006.01)
A 61 Q 1/00	(2006.01)
C 07 F 7/18	(2006.01)
C 08 G 77/38	(2006.01)

【F I】

C 07 D 493/04	1 0 6 A
C 07 D 519/00	C S P
A 61 K 47/22	
A 61 K 47/34	
A 61 K 8/49	
A 61 K 8/58	
A 61 K 8/891	
A 61 Q 1/04	
A 61 Q 1/10	
A 61 Q 3/00	
A 61 Q 1/00	
C 07 F 7/18	Y
C 08 G 77/38	

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月19日(2014.2.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

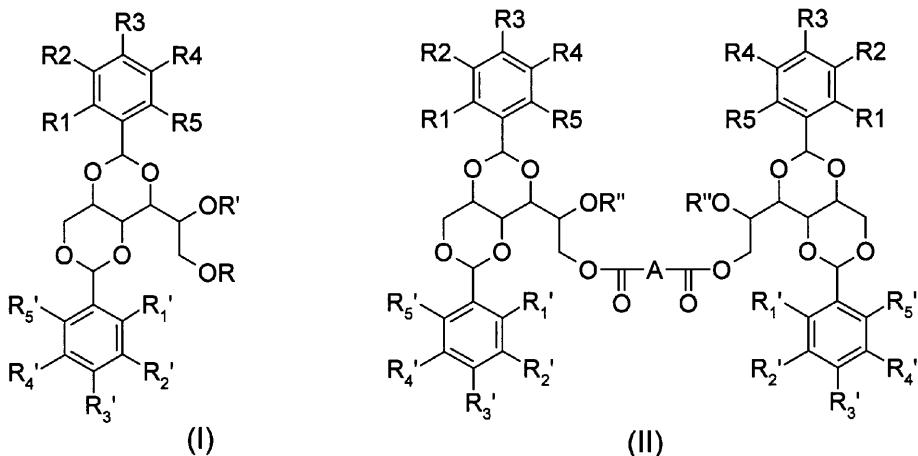
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)または(II)のジベンジリデンソルビトールエステルタイプの化合物:

【化 1】



「式中、

-R、R'およびR''は、互いに独立して、水素原子または-C(O)Y基(式中、Yは、

(i) 飽和の、直鎖状もしくは分岐状のC<sub>2</sub> ~ C<sub>25</sub>アルキル基；

(ii) 1~3個のメチル、または、直鎖状もしくは分岐状のC<sub>2</sub>~C<sub>8</sub>アルキル基で置換されていてもよいC<sub>5</sub>~C<sub>6</sub>シクロアルキル基；あるいは

(iii) 1個もしくは2個の共役もしくは非共役二重結合を含むC<sub>10</sub>~C<sub>17</sub>アルケニル基を表し；

RおよびR'が同時に水素原子を表すことはないことが理解され;

- 式(1)の化合物において、

a) R1、R2、R3、R4およびR5基のすべて、ならびに/もしくは、R'1、R'2、R'3、R'4およびR'5基のすべてが、水素原子を表す；または

b) R1、R2、R3、R4およびR5基のうちの少なくとも2つ、ならびに/もしくは、R'1、R'2、R'3、R'4およびR'5基のうちの少なくとも2つが、直鎖状または分岐状のC1～C18アルキル基を表し、

- 式(11)の化合物において、

R1、R2、R3、R4、R5、R'1、R'2、R'3、R'4およびR'5基は、互いに独立して、水素原子；直鎖状もしくは分岐状のC<sub>1</sub>～C<sub>18</sub>アルキル基；直鎖状もしくは分岐状のC<sub>1</sub>～C<sub>18</sub>アルコキシ基；フェノキシ基；メチル、エチル、プロピル、イソプロピル、ブチル、イソブチルもしくはtert-ブチルから選ばれる1個～3個の基によって置換されていてもよいフェニル基；またはベンジル基を表し；ならびに/あるいは

2つの連続した基が、一緒になって、シクロヘキシリ環を形成し、残りの基は上記に示した意味を有し：

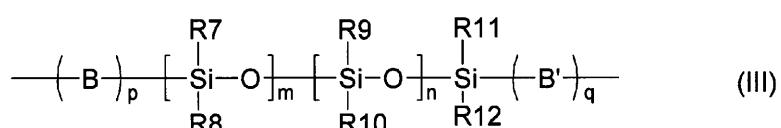
二価の基Aは、式(11)において、

(i) 飽和の、直鎖状、環状または分岐状の二価のC<sub>1</sub> ~ C<sub>5</sub>炭化水素基：

(ii) 1個～3個の飽和または不飽和の、直鎖状、分岐状および/または環状のC<sub>1</sub>～C<sub>32</sub>炭化水素基によって置換されていてもよい二価のC<sub>6</sub>～C<sub>14</sub>アリーレン基；

(iii) 式(111)の二価のシリコン基:

【化2】



(式中、

-  $p$ および $q$ は、互いに独立して、0または1であり、

- BおよびB'は、互いに独立して、1個～12個の炭素原子を含み、O、SおよびNから選ばれる1個または複数のヘテロ原子を含んでもよい、飽和または不飽和の、実際さらには芳香族の、直鎖状、分岐状および/または環状の二価の炭素を含む基を表し；そうでなければBおよびB'は、独立して、式-[ $(CH_2)_xO]_z-$ の基（式中、x=1、2または3およびz=1～10である）を表し；

- R7～R12は、互いに独立して、1個～20個の炭素原子を含む、飽和または不飽和の、実際さらには芳香族の、直鎖状、分岐状および/または環状の炭素を含む基であり；

- mおよびnは、互いに独立して、0から140の間の整数であり、式(III)の基の重量平均分子量( $M_w$ )が300から20000の間となるようなものである)を表す]。

#### 【請求項2】

Yが、直鎖状または分岐状のC<sub>2</sub>～C<sub>25</sub>、好ましくはC<sub>3</sub>～C<sub>23</sub>、さらに好都合にはC<sub>4</sub>～C<sub>21</sub>、実際さらにはC<sub>6</sub>～C<sub>19</sub>アルキル基である、請求項1に記載の化合物。

#### 【請求項3】

式(II)において、BおよびB'が、互いに独立して、a=1～12である式-( $CH_2)_a-$ の二価の基またはフェニレン基、そうでなければx=1、2もしくは3およびz=1～10である式-[ $(CH_2)_xO]_z-$ の基を表す、請求項1または2に記載の化合物。

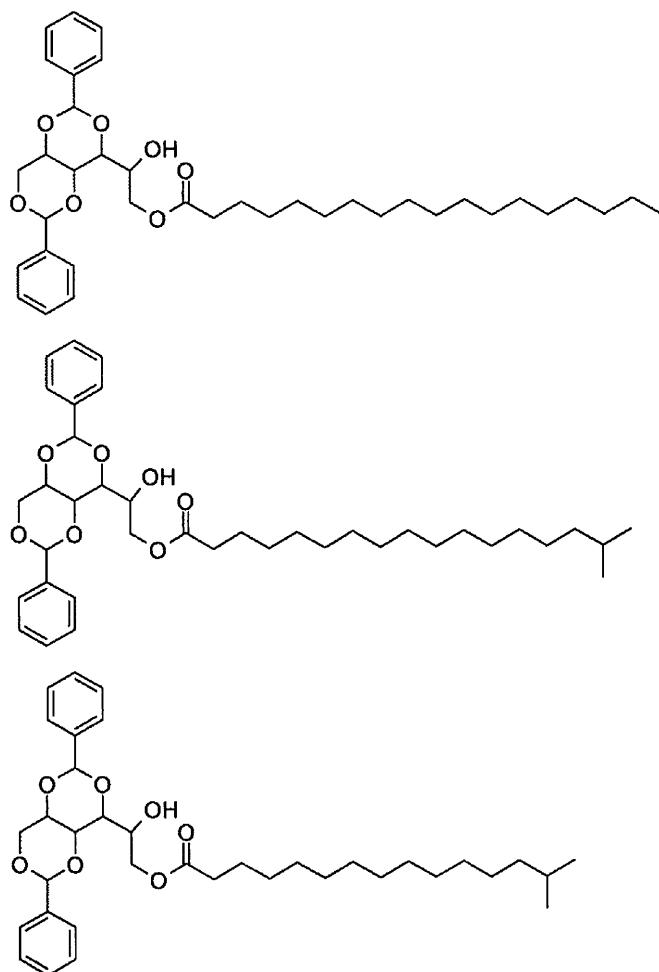
#### 【請求項4】

式(II)において、二価の基Aが、メチレン、エタンジイル、プロパンジイル、ブタンジイル、ペンタンジイル、ヘキサンジイル、ヘプタンジイル、オクタンジイル、ノナンジイル、デカンジイル、ウンデカンジイル、ドデカンジイル、トリデカンジイル、テトラデカンジイル、ペントデカンジイル、ヘキサデカンジイル、ヘptaデカンジイル、オクタデカンジイル、シクロヘキサンジイル、ベンゼンジイル、ナフタレンジイル、ビフェニレンまたはキシリリデン基；ポリアルキルシロキサンなどの基、特にポリジメチルシロキサン；そうでなければポリアリールシロキサン、特にポリフェニルシロキサン；またはさらにポリアリール/アルキルシロキサン、特にポリフェニル/メチルシロキサンもしくはポリフェニル/プロピルシロキサンから選ばれる、請求項1から3の一項に記載の化合物。

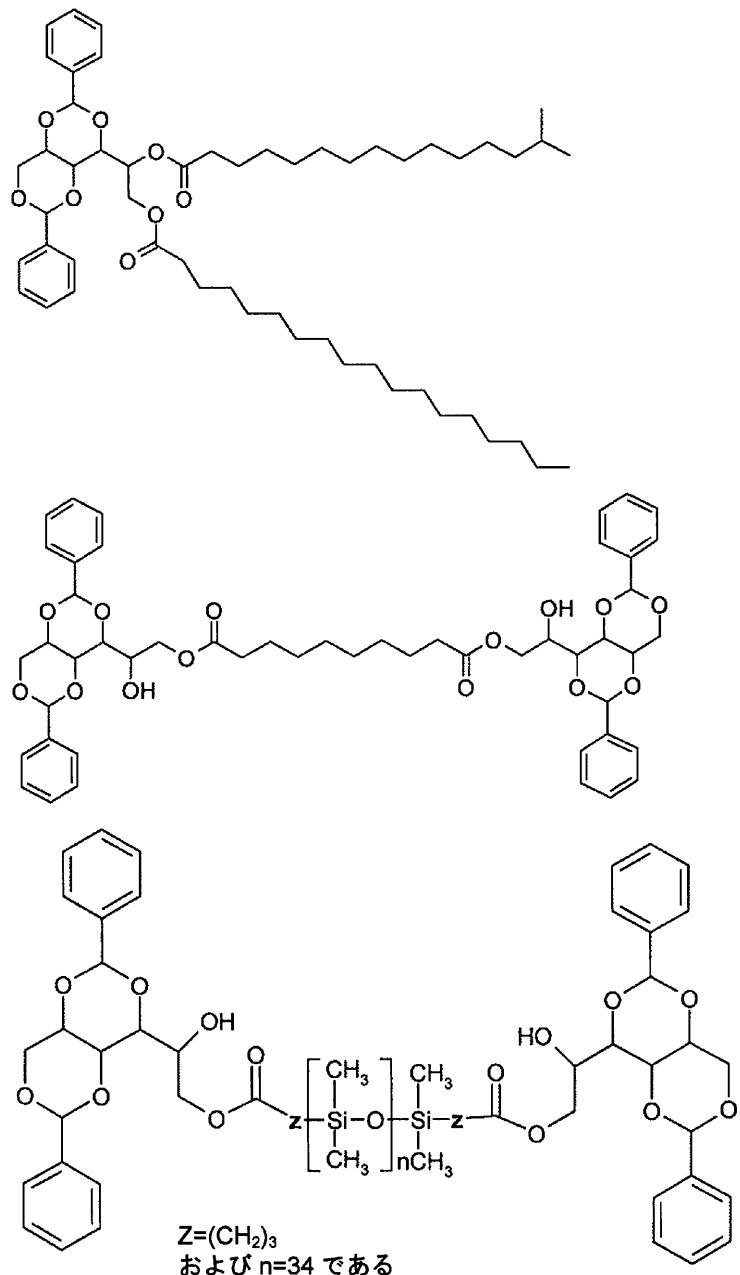
#### 【請求項5】

以下の化合物：

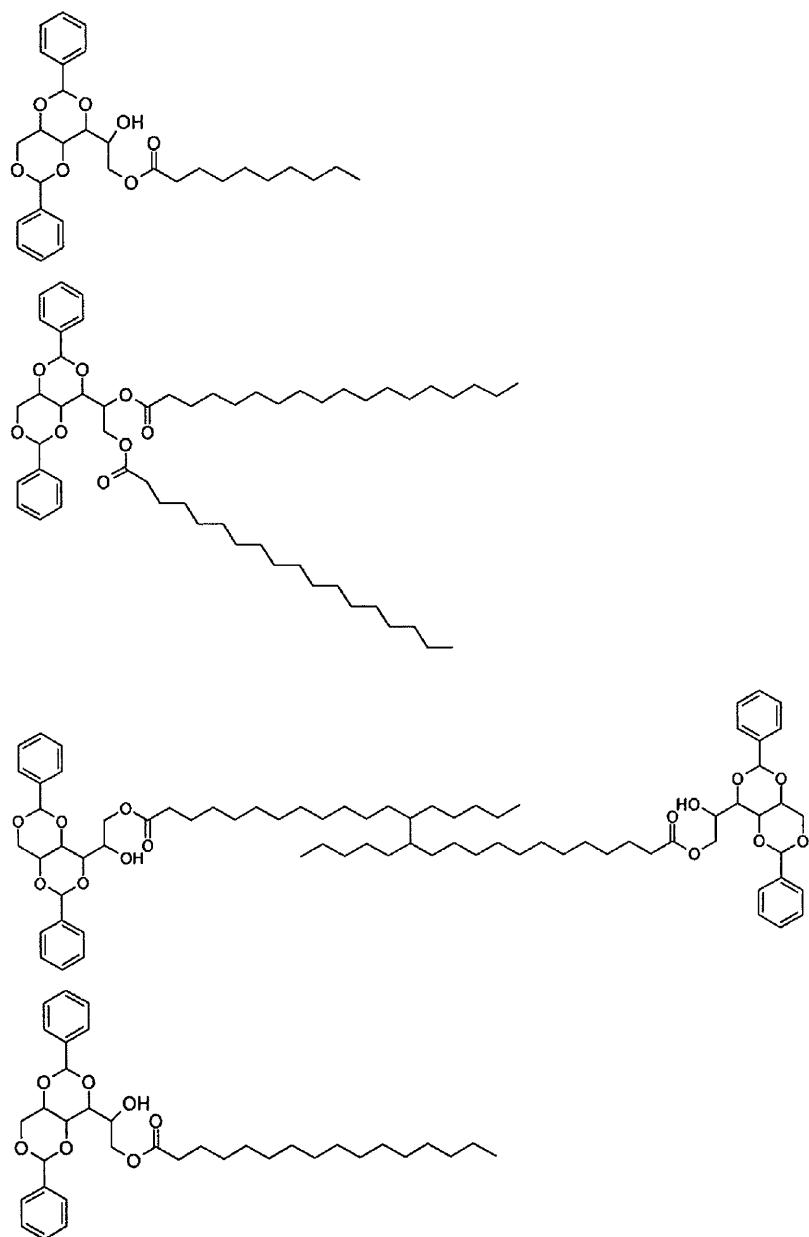
【化 3 A】



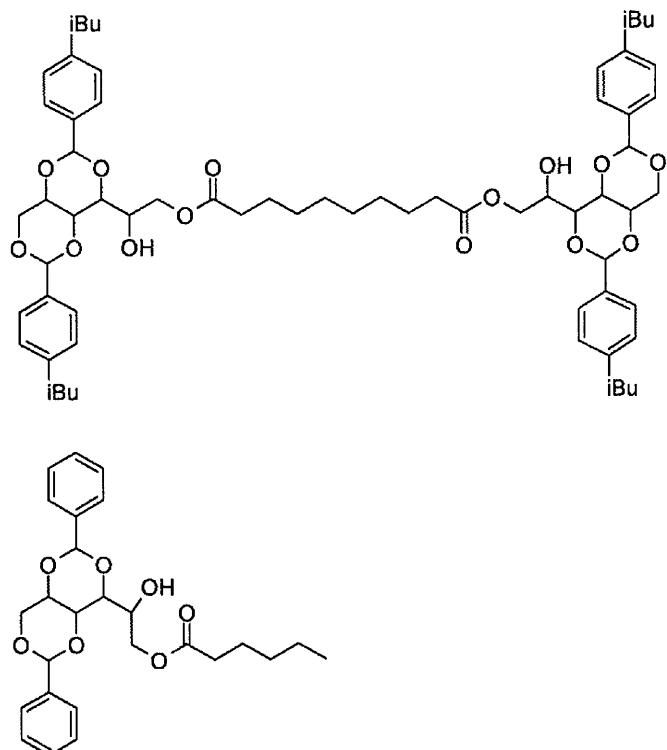
【化 3 B】



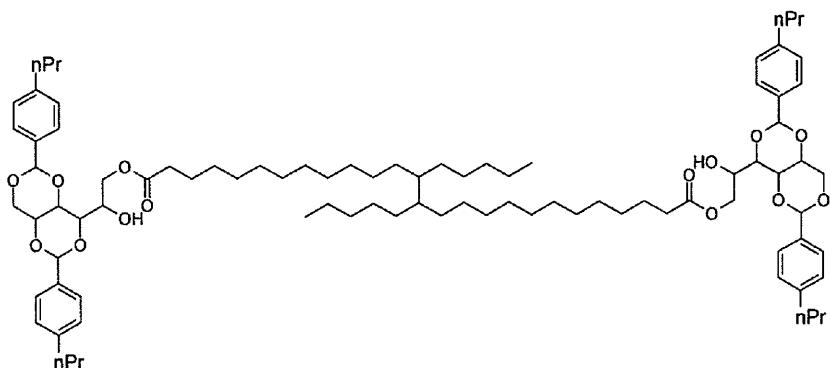
【化3C】



## 【化3D】



## 【化3E】

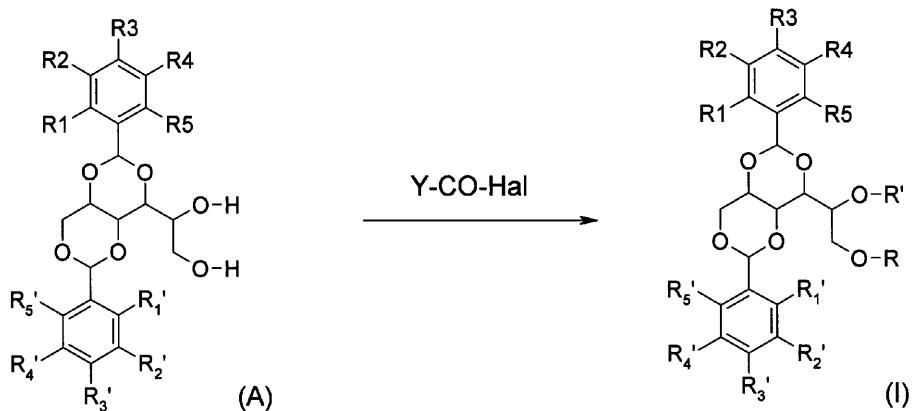


から選ばれる、請求項1から4の一項に記載の化合物。

## 【請求項6】

下記式(A)のジベンジリデンソルビトール誘導体を、塩基の存在下において非プロトン性溶媒中で、少なくとも1種の式Y-C(O)-Halの酸ハロゲン化物、好ましくは酸塩化物と反応させる段階を含む、請求項1から5の一項に記載の式(I)の化合物の調製方法。

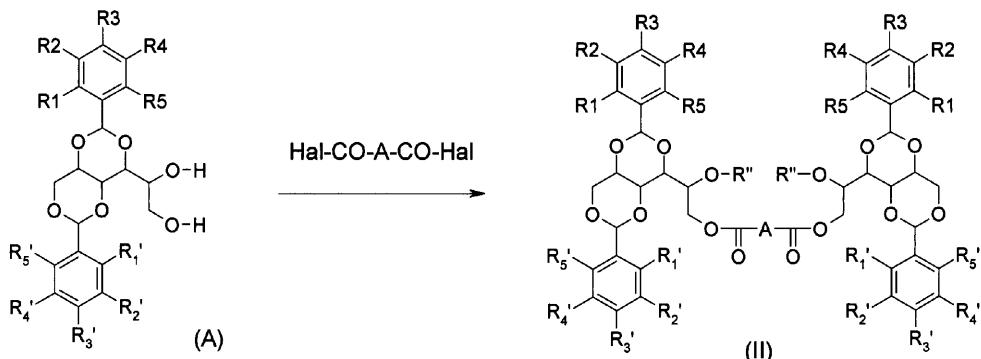
【化 4】



## 【請求項 7】

式(A)のジベンジリデンソルビトール誘導体を、塩基の存在下において非プロトン性溶媒中で、酸二ハロゲン化物Hal-CO-A-CO-Hal、好ましくは酸二塩化物と反応させる段階を含む、請求項1から5の一項に記載の式(II)の化合物の調製方法。

【化 5】



## 【請求項8】

生理学的に許容される媒質中に、請求項1から5の一項に記載の式(I)または(II)の少なくとも1種の化合物を含む、化粧用組成物または医薬組成物。

### 【請求項9】

式(I)または(II)の化合物が、単独でまたは混合物として、最終的な化粧用組成物または医薬組成物の総重量に対して、0.05重量%から30重量%の間、好ましくは0.1重量%から25重量%の間、特に0.2重量%から20重量%の間、実際さらには0.5重量%から18重量%の間、さらに好都合には1重量%から16重量%の間の量で存在する、請求項8に記載の組成物。

## 【請求項 10】

揮発性または不揮発性の、炭素を含む、炭化水素を含む、フッ素を含む、および/またはシリコーンを含む、無機物、動物、植物または合成起源の油および/または溶媒;動物、植物、無機物または合成起源のワックス、ペースト状脂肪性物質またはガム;水;直鎖状または分岐状C<sub>2</sub> ~ C<sub>5</sub>アルコール、特にモノアルコール;ポリオール;ポリエチレングリコール;C<sub>2</sub>エーテル;親水性C<sub>2</sub> ~ C<sub>4</sub>アルデヒド、着色材料;ビタミン、増粘剤、ゲル化剤、微量元素、軟化剤、金属イオン封鎖剤、芳香剤、塩基性化もしくは酸性化剤、防腐剤、日焼け止め剤、界面活性剤、酸化防止剤、化粧用活性成分、噴射剤、セラミド、フィルムを形成することができる助剤、またはポリマー、特にフィルム形成ポリマーから選ばれる少なくとも1種の成分を含む、請求項8または9のいずれかに記載の組成物。

## 【請求項 11】

体もしくは顔の皮膚、唇、爪、睫毛または眉毛のためのケア、衛生またはメークアップ製品；日焼け止めまたはセルフタンニング製品；あるいは毛髪用製品の形態で提供される、

請求項8から10の一項に記載の組成物。

【請求項 1 2】

体もしくは顔の皮膚、唇、爪、毛髪、眉毛および/または睫毛などのケラチン物質の美容処置の方法であって、請求項8から11の一項に記載の化粧用組成物の、前記ケラチン物質への適用を含む方法。

【請求項 1 3】

特に親油性媒質のための構造化剤、増粘剤またはゲル化剤としての、請求項1から5の一項に記載の式(I)または(II)の少なくとも1種の化合物の使用。

【請求項 1 4】

単独でまたは混合物として、揮発性または不揮発性の、炭素を含む、炭化水素を含む、フッ素を含む、および/またはシリコーンを含む、無機物、動物、植物または合成起源の油および/または溶媒から選ばれる少なくとも1種の化合物を含む化粧用組成物または医薬組成物における、請求項13に記載の使用。

【請求項 1 5】

化粧用組成物または医薬組成物が、植物油、C<sub>6</sub>～C<sub>32</sub>アルカン、C<sub>8</sub>～C<sub>32</sub>脂肪エステル、C<sub>8</sub>～C<sub>32</sub>脂肪アルコール、C<sub>3</sub>～C<sub>8</sub>エステルまたはシリコーン油から選ばれる少なくとも1種の化合物、より特には、少なくともイソドデカン、デカン、ウンデカン、ドデカン、トリデカン、テトラデカン、Parleam、イソノナン酸イソノニル、オクチルドデカノール、フェニルトリメチコーン、安息香酸C<sub>12</sub>～C<sub>15</sub>アルキル、酢酸エチル、酢酸ブチルおよびこれらの混合物を含む媒質を含む、請求項14に記載の使用。